

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成29年7月27日(2017.7.27)

【公開番号】特開2015-33851(P2015-33851A)

【公開日】平成27年2月19日(2015.2.19)

【年通号数】公開・登録公報2015-011

【出願番号】特願2014-140158(P2014-140158)

【国際特許分類】

B 32B 27/30 (2006.01)

【F I】

B 32B 27/30 A

【手続補正書】

【提出日】平成29年6月13日(2017.6.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表層側から順に、()機能層と()ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂フィルム層とを有する積層体の製造方法であって、

上記()ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂フィルムを

(A)押出機とTダイとを備える装置を用い、Tダイから、ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂の溶融フィルムを、連続的に押出す工程；

(B)回転する又は循環する第一の鏡面体と、回転する又は循環する第二の鏡面体との間に、上記ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂の溶融フィルムを供給投入し、押圧する工程；及び、

(C)フィルムを上記第一の鏡面体に抱かせて次の移送ロールへと送り出す工程；

を含み、ここで

(D)上記第一の鏡面体の表面温度は上記第二の鏡面体の表面温度よりも高くされており；

上記()機能層は、光拡散機能、反射防止機能、耐汚染性機能、防曇性機能、抗菌性機能、熱伝導性機能、及び帯電防止機能、からなる群から選択される1以上の機能を有し、上記積層体は全光線透過率が80%以上である方法。

【請求項2】

上記ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂のガラス転移温度が150以上である請求項1に記載の方法。

【請求項3】

上記()ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂フィルムが、第一ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂層；芳香族ポリカーボネート系樹脂層；第二ポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂層；が、この順に直接積層されたポリ(メタ)アクリルイミド系樹脂多層積層フィルムである請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

上記積層体が、上記ポリ（メタ）アクリルイミド系樹脂フィルムの、少なくとも上記（)機能層との積層面側の上に、更にアンカーコートを有する請求項1～3の何れか1項に記載の方法。

【請求項5】

画像表示装置部材の製造方法であって、

(1) 請求項1～4の何れか1項に記載の方法で積層体を製造する工程；

(2) 上記工程(1)で得られた積層体を使用して画像表示装置部材を製造する工程；
を含む方法。